

2023年3月13日

株式会社ACSL

**ACSL、日本初、レベル4対応の無人航空機の第一種型式認証書を国土交通省より取得**

- ▶ 航空法等の一部を改正する法律が昨年12月5日より施行され、無人航空機（ドローン）の型式認証制度が開始
- ▶ ACSLは、レベル4（有人地帯での目視外飛行）に対応したドローンの開発を行い、3月13日に国土交通省より日本で初めて第一種型式認証を取得
- ▶ 2023年3月末までに日本初のレベル4飛行を実施予定

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：鷲谷聡之、以下、ACSL）は、昨年12月5日より開始された無人航空機（ドローン）の型式認証制度<sup>\*1</sup>において、本日、第一種型式認証書を日本で初めて取得しました。

ACSLは今後、2023年3月末までに日本初のレベル4飛行（有人地帯での目視外飛行）を実施すべく、型式認証を取得したACSL式PF2-CAT3型（以下「PF2-CAT3」）の第一種機体認証申請<sup>\*2</sup>を進めてまいります。



日本初の第一種型式認証を取得したPF2-CAT3



第一種型式認証取得のための試験の様子

**■代表取締役社長 鷲谷 聡之 コメント**

本日、日本で初めて、第一種型式認証書を国土交通省様から交付いただきました。

昨年12月5日に制度が開始して以来、国土交通省様やあらゆる関係者の皆様にサポートいただきながら、レベル4対応機体の安全性や均一性を証明するための検査や試験を社員一丸となって進めてきた成果といえます。

レベル4飛行においては、生活者の上空を飛行することを想定した機体開発が必要となり、今まで以上に安全な機体であることが求められます。PF2-CAT3は、あらゆる環境や条件での試験を実施し、航空法に基づく安全基準及び均一性基準に適合したと判定いただきました。

ACSLは、新たな市場を創っていくこと、そしてドローン業界をリードしていくことが使命であると考えています。日本初の第一種型式認証書を取得したことにより、今後ドローンがますます生活者に身近なものとして社会実装されていくことを、推進していきたいと考えています。

そして、社会インフラに革命を起こし、重労働で危険な業務を無人化していくという目標を実現するため、これからも安全、安心なドローンを開発し提供してまいります。

### ■PF2-CAT3 について

項目	概要
機種名	PF2-CAT3
外寸	1,174mm×1,068mm×601mm (プロペラ含む)
重量	機体:5.5kg バッテリー:3.3kg 最大ペイロード:1.0kg 最大離陸重量 9.8kg
最高速度	水平:10m/s(36km/h) 上昇:3m/s 下降:2m/s
最大航続時間	20分(最低離陸重量時) 17.5分(最大離陸重量時)
補助安全装置	日本化薬社製パラシュート搭載



PF2-CAT3



パラシュートが開いた様子  
提供：日本化薬

### ■参考

#### ※1 無人航空機の型式認証制度

型式認証制度とは、国土交通省が航空法に基づき、特定飛行に資することを目的とする型式の無人航空機の強度、構造及び性能について、設計及び製造過程が安全基準及び均一性基準に適合するか検査し、安全性と均一性を確保するための認証制度です。昨年12月5日より開始されました。

#### ※2 第一種機体認証申請

特定飛行を行うことを目的とする無人航空機の強度、構造及び性能について、設計、製造過程及び現状が安全基準に適合するか検査し、安全性を確保するための認証制度です。型式認証を受けた型式の無人航空機は、機体認証の検査の全部または一部が省略されます。

参考サイト

無人航空機レベル4ポータルサイト：<https://www.mlit.go.jp/koku/level4/>

【株式会社ACSLについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

ACSLは、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AIのエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

以上